



BRIDGESTONE BATTLECRUISE H50 IMPRESSION

TEXT:青木タカオ PHOTO:磯部孝夫
取材協力/ブリヂストン お客様相談室 TEL0120-39-2936

ロングライフでもっとスポーティなタイヤを! そう願うハーレーユーザーにぜひ履いて欲しい

世界最高峰の2輪レースや鈴鹿8時間耐久レース、全日本ロードレース選手権といった

モータースポーツ活動において輝かしい成績を収めてきたブリヂストン。

そんなロードレース界の雄が、ついにアメリカンVツインクルーザー向けのタイヤを専用開発した。

その名も『BATTLECRUISE H50(バトルクルーズ・エイチゴーマル)』。

気になるライドフィーリングを、ハーレーダビッドソンXL1200X フォーティーエイトにて確かめることにした。

『BATTLEX (バトラックス)』シリーズを
中心に、ON/OFFを問わずカーティン
ごとに多彩なモーターサイクル用タイヤを
リースしてきたブリヂストン。そのブリヂ
ストンが、ハーレーダビッドソンを中心とし
たアメリカンクルーザー専用に満を持して
提案する新ブランド「バトルクルーズ」。コト
ザーからの要望に耳を傾け、バトラックスシ
リーズの研究開発で培われたテクノロジー
をもとに新開発されている。

まず前後16インチのフォーティーエイトの
ホイールにセットされたバトルクルーズ・エイ
チゴーマルをじっくりと眺めてみる。ハーレー
乗りとしてはトレッドパターンも大いに気に
なるところだが、力強いルックスはアメリカン
ヴィンテージによく似合う。浅く彫り込まれた
ダイヤモンドカットがショルダーにあしらわれ、
見た目も誇らしげで堂々たるものだ。

さあ、走り出してみよう。ハーレーダビッ
ドソンのラインナップの中では軽快感のあ
るスポーツスター/アミリーといえども、フォー
ティーエイトの車両重量は255kgとへビー。
重量級クルーザーの走りを支えるには、強
くてガツチリとした硬いタイヤがこれまでに
求められてきたが、このバトルクルーズ・エ
イチゴーマルはどうだ。剛性はしっかりと感じ
られるのだが、乗り心地はソフトで、重い
はずの車体が軽く感じるではないか!

吸収性が良く、サスペンションがアップグ
レードしたような感覚は、ゴムの強度によっ
てではなく、タイヤの構造を見直すことに
よって実現している。縦バネと横バネを構
造面で使い分け、リアでは縦バネを5%ほど
下げることで、フロントでスマートな乗り心
地を獲得。横方向の剛性を担う横バネは
従来どおりとし、リアタイヤの振動を減らし、
乗り心地を飛躍的に向上しているのだ。

ストップ＆ゴーを繰り返す市街地走行で
もコントロール性が上がっているのがわかり、
車線変更やブレーキングも軽快で鋭い。
振動が低減しているのは、ミラーのブレ
が抑制され、後方がしっかりと確認できるこ

ドソンのラインナップの中では軽快感のあ
るスポーツスター/アミリーといえども、フォー
ティーエイトの車両重量は255kgとへビー。
重量級クルーザーの走りを支えるには、強
くてガツチリとした硬いタイヤがこれまでに
求められてきたが、このバトルクルーズ・エ
イチゴーマルはどうだ。剛性はしっかりと感じ
られるのだが、乗り心地はソフトで、重い
はずの車体が軽く感じるではないか!

吸収性が良く、サスペンションがアップグ
レードしたような感覚は、ゴムの強度によっ
てではなく、タイヤの構造を見直すことに
よって実現している。縦バネと横バネを構
造面で使い分け、リアでは縦バネを5%ほど
下げることで、フロントでスマートな乗り心
地を獲得。横方向の剛性を担う横バネは
従来どおりとし、リアタイヤの振動を減らし、
乗り心地を飛躍的に向上しているのだ。

ストップ＆ゴーを繰り返す市街地走行で
もコントロール性が上がっているのがわかり、
車線変更やブレーキングも軽快で鋭い。
振動が低減しているのは、ミラーのブレ
が抑制され、後方がしっかりと確認できるこ



■タイヤサイズ

◎2017年2月発売

Front

130/90 B16 M/C 73H
130/90 B16 M/C 67H
100/90 B19 M/C 57H
80/90 -21 M/C 54H

Rear

130/90 B16 M/C 73H
140/90 B16 M/C 77H
150/80 B16 M/C 77H
160/70 B17 M/C 73V

◎2018年2月発売

Front

130/80 R17 M/C 65H TL
140/75 R17 M/C 67V TL
120/70ZR18 M/C (59W) TL
130/70 B18 M/C 63H TL
120/70ZR19 M/C (60W) TL
130/60 B19 M/C 61H TL
130/60 B21 M/C 63H TL

Rear

180/65 B16 M/C 81H TL
180/70 B16 M/C 77H TL
150/60ZR17 M/C (66W) 77H
180/60 B17 M/C 75V TL
200/55 R17 M/C 78V TL
180/55 B18 M/C 80H TL
240/40 R18 M/C 79V TL

ハーレーダビッドソン XL1200X フォーティエイトの前後16インチ・キャストホイールに装着したハーレークルーズ・エイチゴーマル。迫力あるフロントエンドをより強調する力強いトレッドパターンが見る者を魅了する。



“力強いトレッドパターンで 気になるルックスも申し分ナシ！”



旋回性能を大幅に向上するとともに、ハイウェイクルージングでのコンフォート性も高め。本来クルーザーが持つ長所を伸ばしている。ロングライドを達成しつつ、コーナリングでの高い操縦性能と乗り心地を追求。長距離ライディングでの疲労を軽減した。

ワインディングがますますエキサイティングに。コーナリング性能も高く、「さすがはサーキットで数々の栄光を勝ち取ってきたブリヂストン」と思わず唸ってしまう。ショルダー部まで使ってもしっかりとグリップを感じ、車体そのものが持つバンク角が物足りない。

この旋回力の高さは、じつはタイヤを見て触った瞬間から感じていた。プロファイルが尖っていて見るからに軽快に曲がりそうだし、タイヤを手で触ったときの柔らかさはこれまでのアメリカン・クルーザー向けタイヤにはなかつたしなやかで、弾力性に富んだもの。「これはグリップしそう！」と、タイヤを履き替えた途端に想像できたが、その直感は間違いではなかった。

この端までもつと使つて欲しい」と言つているかのよつに、コーナーが得意で、バンク中もそれほどに安定して、絶大なグリップを感じる。バンクしてからは程良くなわみ、路面をしっかりと掴んでいることが把握できるから、アクセルを離せず開けていくことができ、走りのベースが自然と上がりていく。峠道でよく出くわす荒れた路面も難なくこなす吸収性があり、ツーリングでのワインディング区間がよりエキサイティングなものになるだろう。

この旋回力の高さは、じつはタイヤを見て触った瞬間から感じていた。プロファイルが尖っていて見るからに軽快に曲がりそうだし、タイヤを手で触ったときの柔らかさはこれまでのアメリカン・クルーザー向けタイヤにはなかつたしなやかで、弾力性に富んだもの。「これはグリップしそう！」と、タイヤを履き替えた途端に想像できたが、その直感は間違いではなかった。



取材協力

スピードスター

東京都世田谷区世田谷1-48-8
TEL / 03-3427-1351
営業時間 / 平日9:30~20:00(日祭日~19:00)
※最終受付営業時間の30分前まで
定休日 / 水曜日



車両協力

ハーレーダビッドソンシティ中野店

東京都中野区野方4-42-9
TEL / 03-6909-1180
営業時間 / 11:00~20:00
定休日 / 水曜日

新青梅街道沿いにあるオートバイタイヤ専門店。熟練スタッフの丁寧な作業とリーズナブルな価格設定で、リピート率が高いものと頷ける。外車、旧車、時間のかかる車両、他店で断られた車両等でも親身になって相談に乗ってくれるなど、ライダーにとって頼もしい味方となっている。カフェも大人気だ。

特筆すべきボイントだ。サスペンションをボイルしきれない路面からの細かな衝撃を感じるハーレークルーズ・エイチゴーマル。そのライダーや、このバトルクルーズ・エイチゴーマルのナップの中でもアグレッシブで軽快な走りが魅力のスポーツスター・アミリーだが、その持ち味をさらに引き出しができるタイヤが、このバトルクルーズ・エイチゴーマルと言えよ。